
4 0 6 0. 輸入貨物荷渡情報登録

業務コード	業務名
DOR	輸入貨物荷渡情報登録

1. 業務概要

B/L及び運賃等回収後に、貨物の荷渡し可能な旨及びD/O IDを登録する。

また、B/L番号単位に通知先を指定することができる。荷渡し可能な旨及びD/O IDの取消しも可能とする。

本業務で登録されたD/O IDについては、ICG表示有無識別に表示する旨が入力され、かつ当該B/L番号に対して「貨物情報照会（ICG）」業務の荷送受人情報（指定情報「SHP」）が照会可能な利用者のみICG業務で参照できる。

2. 入力者

船会社、船舶代理店

3. 制限事項

1業務で入力可能なB/L番号は最大10件とする。

4. 入力条件

（1）入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②船会社の場合は、貨物情報DBに登録されている船会社と同一であること。
- ③船舶代理店の場合は、貨物情報DBに登録されている船卸港において本船利用船会社との受委託関係がシステムに登録されていること。
- ④取消しの場合は、本業務を行った利用者であること。

（2）入力項目チェック

（A）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（B）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（3）貨物情報DBチェック

（A）登録の場合

- ①入力されたB/L番号に対する貨物情報DBが存在すること。
- ②輸入貨物であること。
- ③通知先が入力されていない場合はコンテナオペレーション会社に「99999」以外が登録されているか、貨物がCYまたは保税蔵置場に蔵置されていること。

（B）取消しの場合

- ①入力されたB/L番号に対する貨物情報DBが存在すること。
- ②荷渡し可能な旨が登録されていること。

5. 処理内容

（1）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（2）貨物情報DB処理

（A）登録の場合

- ①荷渡し可能な旨を登録する。

②入力されたD/O IDを登録する。なお、既に登録されている場合は、入力されたD/O IDで上書きする。

(B) 取消しの場合

①荷渡し可能の旨を取り消す。

②D/O IDが登録されていた場合は、D/O IDを取り消す。

(3) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(4) 注意喚起メッセージ出力処理

全量運送中で通知先が入力されていない場合は、「輸入貨物荷渡ID登録通知情報」が出力されない旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
輸入貨物荷渡ID登録通知情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 登録である (2) 通知先が入力されている	入力された通知先
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 登録である (2) MFR業務でコンテナオペレーション会社に「9999」以外が入力されている (3) 船卸前である	CY* ¹
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 登録である (2) 貨物がCYまたは保税蔵置場に蔵置されている	CYまたは保税蔵置場* ¹
輸入貨物荷渡ID取消通知情報	取消しの場合	登録されている通知先

(* 1) システム参加保税地域以外の場合は出力しない。